

講義名	公務員特別演習			授業形態	
担当教員	河辺 有希生 / 中島 孝子 / 羽森 直子		開講期・曜日・時間	前期 月曜日 3 時限	
	単位数	2	履修開始年次	4 年生	ナンバリング・コード PSC440

主題と概要

公務員特別演習は、公務員を目指す経済学部生を対象とする。1年後期（演習）から4年前期（演習）までの一貫したプログラムである。「究極のサービス業」とも呼ばれる公務員は、様々な分野で、多くの人々の暮らしを支える非常にやりがいのある職業である。したがって、この演習のみで合格できるほど公務員試験は甘くはない。また知識をただ暗記し、他者からの指示がなければ行動できない人材も求められてはいない。つまり公務員試験では、自ら考え、仲間とともに正解のない問題に挑戦できる総合的な人間力が求められている（まさに本学が掲げる「ネアカのびのびへこたれず」の精神をもった人材）。そこで本演習は、高いモチベーションを維持しながら試験対策を効果的に継続できるように、様々なヒントを段階的に与えることで、公務員を目指す学生をサポートしていく。本科目は、公務員をめざす学生を補助することを目的とする。具体的には、公務員特別演習で修得してきた知識をもとに、公務員登用試験の準備をおこなひ、これまでに学んだ知識の基本事項等を確認し、それらを活用することを学ぶ。

到達目標

本科目では以下を到達目標とする。
 1 具体的な進路を決定できる。
 2 公務員試験合格を目指して、知識の応用とともに、応募書類の準備や面接の練習等をおこなうことができる。

提出課題

授業中に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題提出後、講評と解説を行う。場合によっては、課題の修正と再提出を求める。

評価の基準

議論への参加（発言）：50%
 教養演習の取り組み：25%
 レポート（論作文・振り返りなど）：25%

履修にあたっての注意・助言他

・本クラスは、真剣に公務員試験合格を目指す学生を対象とする。理由なく遅刻・欠席しないこと。
 ・本プログラムの学習のみで合格できるほど、公務員試験は甘くない。本クラスはあくまでも公務員志望者のサポーターである。受講生諸君が独自に試験対策を練り、自習を重ねる必要があることはいくらでもない。
 ・学内の公務員試験対策講座（3年生から始まる有料講座）等の受講、もしくは外部専門学校の受講（ダブルスクール）を強く勧める。
 ・「基礎技術①」以外の開講する正課授業を、順次、履修すること強く推奨する。
 ・（共通）法入門、経済学入門、地域まちづくり概論、防災まちづくり論、業界研究（官公庁）
 ・（行政職希望）民法A・B、憲法、政治学、財政学、行政学、地方行政論、地方財政論、経済数学、ミクロ経済学、マクロ経済学
 ・（公安職希望）基礎技能A（数的処理）

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

必要に応じて資料を配布する。

授業計画

- ガイダンス、論作文「論作文のポイント」（ワークアカデミー）、試験スケジュールの確認
 <予備120分> 独自の受験スケジュール・学習計画をまとめる
 <復習120分> 論作文の内容を復習し、与えられたテーマで論作文を仕上げる（水曜日提出期限）
 - 論文を学ぶワークアカデミー、面接のポイント（40分）、面接個別練習（全員5分程度）
 <予備120分> 独自の志望理由を見直し、志望理由書を書き上げる
 <復習120分> 志望理由書の書き方・ポイントを復習し、再度、自分の志望理由書を作成させる
 - 情報共有+教養演習+面接練習（面談）
 <予備120分> 独自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする
 <復習120分> 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
 - 情報共有+社会・地域課題 課題文、論作文、ディスカッション+面接練習（面談）
 <予備120分> 独自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする
 <復習120分> 教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
 - 情報共有+教養演習+面接練習（面談）
 <予備120分> 独自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする
 <復習120分> 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
 - 情報共有+社会・地域課題 課題文、論作文、ディスカッション+面接練習（面談）
 <予備120分> 独自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする
 <復習120分> 教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
 - 情報共有+教養演習+面接練習（面談）
 <予備120分> 独自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする
 <復習120分> 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
 - 情報共有+社会・地域課題 課題文、論作文、ディスカッション+面接練習（面談）
 <予備120分> 独自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする
 <復習120分> 教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
 - 情報共有+教養演習+面接練習（面談）
 <予備120分> 独自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする
 <復習120分> 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
 - 情報共有+社会・地域課題 課題文、論作文、ディスカッション+面接練習（面談）
 <予備120分> 独自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする
 <復習120分> 教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
 - 情報共有+教養演習+面接練習（面談）
 <予備120分> 独自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする
 <復習120分> 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
 - 情報共有+社会・地域課題 課題文、論作文、ディスカッション+面接練習（面談）
 <予備120分> 独自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする
 <復習120分> 教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
 - 情報共有+教養演習+面接練習（面談）
 <予備120分> 独自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする
 <復習120分> 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
 - まとめ、振り返り
 <予備120分> それまでの授業を振り返り、学習できこと、不十分な点を明らかにしておく
 <復習120分> 公務員試験に向けて、授業内容を再度見直す
- 授業計画は進捗により一部変更の場合がある。
 ・予習の内容は、自授業の最後に表示します。
 ・復習の内容は、自授業の最後に表示し、まとめることが基本です。
 また、教養試験等の対策においては、復習が特に重要になります。独自の到達レベルに合わせて積極的に取り組むこと。
 1 5回すべて教員3名（河辺・中島・羽森）が担当する。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本学での学びおよび、経済学を中心とする学部での学びを通じ、現代社会における問題を観察し、課題に対する解決策を提案できることが、経済学部の学生には求められる。様々な仕事の中でも公務員は、課題の具体化や課題に対する解決策を提案する能力が必要とされるだろう。卒業後、大学の学びを通じて培った能力を、公務員として生かす発揮するためには、公務員登用試験に合格する必要がある。本科目は、公務員をめざす学生を補助する役割を担う。

双方授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

河辺 有希生「実務経験あり」：高等学校教員（数学・進路指導） 教職（数的分野）、進路・面接指導について活用
 中島 孝子「実務経験なし」
 羽森 直子「実務経験なし」

備考